

◆編集後記

「夏の福袋」には私たち広報委員も参加しました。中身を明示せずに、選んだ本のテーマを表現するのは、意外に難しいと感じました。次回はもう少しキャッチーな袋を作りたいです。(参考調査担当 Saito)

コンテストへの応募や館報へのご寄稿を通して、魅力的な本をたくさん掘り出しただきました。この館報が、また誰かの新たな本との出会いにつながっていただけると嬉しいです。(雑誌情報担当 Suda)

今回の表紙は図書館サポーターの方に撮影してもらいました。図書館サポーターについてもっと詳しく知りたい方は、ぜひ左下のブログも読んでみてください。(参考調査担当 Maru)

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第54号

発行日：令和3年11月30日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会
〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171

表紙の写真

R3 図書館サポーター 大槻 映玲永 撮影



◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

うだるような暑さが懐かしくなるほど秋風が身に染みる季節となりました。今年の夏は、コロナ禍の中で決行された前例のないオリンピック開催やワクチン接種など特別記憶に残る夏でした。

ところで、弘前の夏の風物詩と言えば、弘前ねぶた祭りですが、もう一つ挙げるとするなら初夏から秋まで(5月~10月初旬)開催される“宵宮祭”ではないでしょうか。この季節には、毎日のように市内のどこかの神社で行われるお祭り。その数の多さには驚きます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常通りの開催ができなかった宵宮もありましたが、例年は60以上の神社で“宵宮祭”が行われ多いところでは80店もの露店が並びます。自宅近隣の品川町にも古くから「弁天さま」として親しまれている神社があります。普段は、静かな神社ですが“宵宮祭”の日には獅子舞や津軽神楽など様々な奉納行事が行われ沢山の人で賑わいます。宵宮の夜、窓の外から笛や太鼓・爆竹の音が聞こえて来ると、今年も夏が来たな〜と実感します。この神社は大同2年(807年)坂上田村麻呂将軍が大野

という地に信仰していた弁財天を祀り創建したと言われる由緒ある神社で境内には湧水があり龍蛇神(白蛇)も祀られています。(水に深い関係のある神様で辰巳生まれの守護神としても信仰を集めているそうです)4歳になる娘とよく行く散歩コースの神社でもあり、境内には大きな桜の木があり春には見事な桜の花を愛でることができますし、暑い夏の日には冷たい湧水で涼を取ることもできるちょっとした身近な癒しの場でもあります。

また、弘前は寺院の多い町です。藩政時代に弘前城築城に際し、各地から移され城を守る要として創建された寺院。禅林街の三十三ヶ寺や禅林街の突き当りには津軽家の菩提寺である長勝寺、最勝院の五重塔は国指定の重要文化財としては日本最北端に位置しています。また、城の西側には鶴亀門と称されることで有名な誓願寺があるなど、とても興味深いです。弘前はふらっと歩けばすぐそこに日常に溶け込んだ史跡に触れることができる街であり、それがこれからもずっと住み続けたいと思わせる弘前の魅力なのかもしれません。(しらさか きょうこ)

【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!



@HirosakiUnivLib

【弘大図書館ブログ】

図書館の便利な使い方などが載っています。ぜひご活用ください。図書館サポーターの学生も記事を執筆しています。

<https://hulib.hatenablog.com/>



図書館ブログ